

総合対策編

1. 避難行動要支援者への協力

災害時に支援を必要とする方の避難に協力しましょう！

高齢者・病人

複数の人で対応する。
急を要するときは、
ひもなどを使って背負い、
安全な場所へ避難する。



肢体の不自由な人

車椅子の場合は、階段
では必ず3人で協力し、
上がる時は前向きに、
下がる時は後ろ向きに
して、恐怖感を与えない
ように配慮する。



目の不自由な人

「お手伝いしましょうか」と、まず声をかける。

誘導するときは、杖を
持っていないほうのひじ
あたりを軽く触れるか、
腕をかして、半歩前くら
いをゆっくり歩く。



耳の不自由な人

話すときは、近くまで寄って相手にまっ
すぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かす。
口頭で伝わらないようであれば、紙とペ
ンで筆談する。紙やペンがなければ、相手
の手のひらに字を書いて筆談する。

避難行動要支援者に関する問合せ先

あわら市 (防災担当) 総務課
(障害者担当) 福祉課
(高齢者担当) 健康長寿課

TEL : 0776-73-8040
TEL : 0776-73-8020
TEL : 0776-73-8022

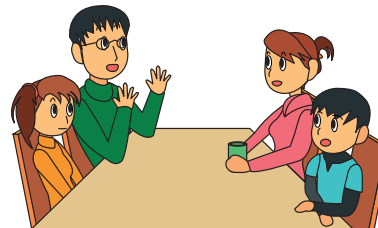
2. 自主防災組織

自主防災組織とは、地域住民の皆様が、地域の連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害発生時には、災害による被害を防止し軽減するため、初期消火、救出、救護、避難誘導、炊き出しなどの防災活動を行う組織です。

災害発生時には、市や消防、警察などの関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など、災害が同時かつ広範囲に発生した場合には、市や関係機関だけでは対応が困難になることも予想されます。

そのため、地域の皆様が自主的・組織的に消火、救出、救護などの防災活動を行うことが大切です。

あわら市では、自主防災組織結成の手助けや、自主防災組織で発電機やヘルメット等の防災資機材を購入する際の補助を行っています。



自主防災組織設立、補助金申請、防災訓練に関する問合せ先

あわら市 総務部 総務課 防災安全対策室
TEL : 0776-73-8040
メールアドレス : soumu@city.awara.lg.jp

3. 避難情報の種類ととるべき行動(マイ・タイムラインを作成しよう)

マイ・タイムラインとは、災害が発生した場合「警戒レベル」とそれに伴い、「何をするのか」を事前に整理し、急な判断を迫られる災害発生時に、迅速に行動するための防災計画です。

警戒レベル	災害状況	① 気象庁からの避難情報 【学習面の確認事項】	市の対応	とるべき行動	我が家のすべき行動 ☑️ チェックするとともに 我が家オリジナルの行動を考えましょう
家庭での学習 (日常)		学習面を確認 災害への心構え	—	災害への心構えを高める ☐ 洪水ハザードマップを確認する ☐ 災害について学習する ☐ 非常持出品*を揃える ☐ 備蓄用品を揃える	普段からすること ☐ 避難所までの避難経路を決め、歩く ☐ i-ameメールの登録をする ☐ 災害伝言ダイヤルを体験する ☐ ☐
1	今後、気象状況悪化の恐れ	① 早期注意情報 学習面を確認 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方	体制の確認	洪水ハザードマップの確認 浸水深： 自宅が「早期の立退き避難が必要な区域」に該当していますか？ ☐ 家屋倒壊等氾濫想定区域に該当 ☐ 土砂災害警戒区域等に該当 災害情報の収集	警戒レベル1ですること ☐ 避難場所、避難経路の再確認 ☐ 避難の服装準備と確認 ☐ 携帯等で、災害情報の確認 ☐ 自宅が早期の立退き避難が必要な区域に該当するか確認 ☐
2	気象状況悪化	① 洪水注意情報 ① 大雨注意情報 ① 氾濫注意情報 学習面を確認 避難行動の確認	警戒する 災害に備えて	避難行動の確認 避難先： 避難方法： 避難に要する時間： 異変を感じたら速やかに避難	警戒レベル2ですること ☐ 避難行動の確認をする ☐ 非常持出品*の確認 ☐ ☐ ☑️ 少しでも不安な方はレベル3で避難 ☑️ 高齢者等とその支援者はレベル3で避難
3	災害のおそれあり	① 洪水警報 ① 大雨警報 ① 氾濫警戒情報 学習面を確認 避難時の心得	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方とその支援者は、避難をはじめましょう。 避難準備を開始	警戒レベル3ですること ☐ 避難行動要支援者がいるため早めに避難 ☐ 近隣の方に声をかける ☐ 避難に適した服装に着替える ☐ ☑️ レベル4で危険な場所から避難
4	災害のおそれ高い	① 土砂災害警戒情報 ① 氾濫危険情報 学習面を確認 避難時の心得 警戒レベル4までに必ず避難！	避難指示	危険な場所から全員避難 家族全員が速やかに避難所へ避難しましょう。 避難完了	警戒レベル4ですること ☐ 非常持出品*を身につける ☐ 安全なところに避難する ☐ ☐ ☑️ 家族全員が避難を完了する
5	災害発生又は切迫	① 大雨特別警報 ① 氾濫発生情報 学習面を確認 命の危険	緊急安全確保	命を守る最善の行動 自宅にいる場合高い建物に避難	警戒レベル5ですること ☐ 命の安全を確保する ☐ 安否確認をする <災害伝言ダイヤル> 171→1→電話番号 171→2→電話番号 ☑️ 外に避難することは、かえって危険なため洪水の場合、自宅の2階以上に避難する

出典：「令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等のあり方について（最終とりまとめ）」(令和2年12月) 内閣府

長期間の在宅避難を行う際の問題点

自宅の周囲が浸水し長期間の在宅避難が必要となった場合、以下の問題が発生します。

- ❗ **浸水が長期にわたる場合**
 - ① 備蓄した水や食料が尽きます。
 - ② 衛生環境が悪化します。
- ❗ **ライフラインの停止による問題**
 - ③ 停電により情報収集ができません。
- ❗ **孤立した場合**
 - ④ 体調を崩した場合、対応ができません。

最低限必要となる備蓄品

- ☑️ 7日分以上の水や食料
- 1人1日分の食料 × 7日以上 × 家族人数**
- ☑️ 簡易トイレ (ビニール袋等)
- ☑️ モバイルバッテリー
- ☑️ ボンベ型のガスコンロ
- ☑️ LEDライト (ランタン)
- ☑️ 医薬品 (処方薬等)

※非常持出品についてはP6参照

4. 防災関係情報の入手先

日頃から防災の意識を高め、防災に関する情報の収集を心がけましょう。

分類	ホームページ名	QR又は電話番号	分類	ホームページ名	QR又は電話番号
総合	防災行政無線 災害情報テレ フォンサービス	0180-99-7000	火災	嶺北消防組合 災害情報テレ フォンサービス	0776-51-2000
	福井県危機 対策・防災情報 ポータルサイト		洪水・ 土砂災害	福井県 河川・ 砂防総合情報	
気象	福井地方気象台		津波	気象庁 津波情報	
地震	気象庁 地震情報		情報提供	あわら市防災 メール登録方法	

防災情報はこちら



Yahoo! 防災速報アプリ
避難所開設など「自治体からの緊急情報」を配信。



Android用



iOS用

5. 警察・消防・病院の問合せ先

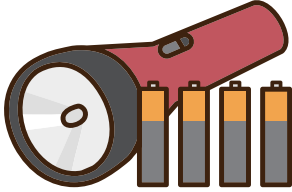
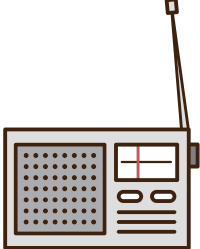



	施設名	電話番号		施設名	電話番号
警察	あわら警察署	0776-73-0110	病院	木村病院	0776-73-3323
	駅前交番	0776-73-4070		加納病院	0776-73-0259
	芦原交番	0776-77-2030		あわら病院	0776-79-1211
	坪江駐在所	0776-74-1100	消防	嶺北あわら消防署	0776-73-0119
	細呂木駐在所	0776-75-1501		嶺北あわら消防署 救急分所	0776-75-2119
	吉崎駐在所	0776-75-1950			
	本荘駐在所	0776-77-2607			

6. 非常持出品

非常持出品は、家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難する際、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

災害発生時に最初に持ち出す「非常持出品」（必要最低限のもの）と災害から復旧するまでの数日間を支える「非常備蓄品」を分けて用意しておきましょう。

最低限そろえておきたいもの（非常持出品）

<p>□懐中電灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば一人に一つ ・予備の電池と電球も忘れずに 	<p>□携帯ラジオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの ・予備の電池は多めに用意を 	<p>□非常食・水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾パンや缶詰など火を通さずに食べられるもの ・水はペットボトルが便利 乳幼児がいる場合は粉ミルクなども忘れずに 
<p>□貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証など ・10円玉など硬貨も便利 	<p>□緊急医薬品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷薬、ばんそうこう、解熱剤、風邪薬、胃腸薬、目薬など ・常用薬があれば、忘れずに用意を 	<p>□その他</p> <p>ヘルメット（防災ずきん） 上着・下着、歯ブラシ、タオル、軍手、紙の食器、ライター（マッチ）、缶切り、栓抜き、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、生理用品、紙おむつやほ乳瓶など</p>

災害後に備えるために（非常備蓄品）

<p>□食品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・缶詰やレトルト食品、ドライフーズ、栄養補助食品、調味料など ・食料は非常食3日分を含む数日分を
<p>□水</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料水は、大人1人あたり1日3リットルが目安 ・少なくとも3日分の用意を ・ペットボトルのほか、ポリ容器にも水をためておくと便利
<p>□燃料・その他</p>	<p>卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベ、毛布、寝袋、洗面用具、ラップ、使い捨てカイロ、ロープ、バールやスコップなどの工具、マスク、トイレトーパー、新聞紙、簡易トイレ、予備のめがね、バイク、自転車、ドライシャンプーなど</p>